

## 【JIN 法人会員向けイベントレポート】

### 「デジタル化がもたらす次の社会～スタンフォード大学 mediaX 最新研究より～」

2016年9月13日(火)、一般社団法人 Japan Innovation Network(JIN)は、スタンフォード大学 mediaX エグゼクティブディレクターの Martha G. Russell 氏と、VBP Orange 設立者兼戦略ディレクターの Harlan Kennedy 氏、スタンフォード大学教授の Michael Shanks 氏 3名をお招きし、JIN 法人会員向けイベント「デジタル化がもたらす次の社会～スタンフォード大学 mediaX 最新研究より～」を開催しました。

イベントは15時よりスタートし、初めに JIN 代表理事の紺野登氏より JIN のナレッジパートナーである mediaX の概要について説明を行いました。



### ■スタンフォード大学 mediaX Martha G. Russell 氏 プレゼン



続いて、スタンフォード大学 mediaX のエグゼクティブディレクターの Martha G. Russell 氏にご登壇いただき、今後見逃せない社会変化や、今後のリーダーシップの鍵として関係性・信頼感・洞察力の3つを紹介いただきました。また、イノベーションプロジェクトを行う上で重要なルールは「2枚のピザとジャズバンド」であるとして、①小さなチームで始めること(2枚のピザで足りる程度の人数で)②お互いを尊重し協力しあう自律した関係を築くこと(一楽器の演奏中は耳を傾け、それを補うよう他楽器が演奏するジャズバンドのように)の大切さを説明いただきました。

#### ■VBP Orange 設立者兼戦略ディレクターの Harlan Kennedy 氏 プレゼン



次に、VBP Orange 設立者兼戦略ディレクターの Harlan Kennedy 氏にご登壇いただき、「会社や顧客への価値提供」と題して、大企業とスタートアップ企業を例に、人々や場所、テクノロジーが交わるブランド戦略について紹介いただきました。具体的には、大企業の社内エコシステム変革には、Audi を例に、組織が何をしているのか、プロセスを従業員に伝え、組織文化をつくりあげることと、多様なステークホルダーと関わり、正しい解決策を見出すことが重要であり、一方、スタートアップ企業においては、Dobot を例に、目的を定め、分析をすることが重要であると説明いただきました。

#### ■スタンフォード大学教授の Michael Shanks 氏 プレゼン



スタンフォード大学教授の Michael Shanks 氏にご登壇いただき、自身が市長と連携し、デジタル技術の導入により効率的に都会の人々の生活を向上させた事例としてサンフランシスコとロッテルダムの例を紹介いただきました。これらの都市の成功の鍵はイノベーションマインドセットを作り上げたことにあるとし、情報技術を活用することで市民のアイデンティティを養い、市民のマインドセットを構築することにつながると説明いただきました。

## ■ ディスカッション

最後に、参加者同士でテーブルごとに、mediaX の3名からお話しいただいた内容を自社でどのように活用していくか、という観点からディスカッションし、発表を行いました。多くの参加者が大企業で実践することの難しさを挙げる中で、Martha 氏から「大企業であっても、2つのピザが足りる程度の人数で始めることができれば、イノベーションは実現できる」と参加者の実践を後押しするメッセージをいただきました。



-----  
一般社団法人 Japan Innovation Network (JIN) 事務局

[お問合せ先]

ホームページ: <http://ji-network.org/contact/>

メール: [info@ji-network.org](mailto:info@ji-network.org)